地方創生 九州沖縄 2015夏

地域色をアピール

7月上旬、九州・山口を中心にした産業遺産群「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に正式登録された。各地の盛り上げに追い風になることに加えて、稼働中の資産が登録されたことも意義が大きい。九州でモノづくりの「革命」が起きたことを、後世だけでなく現代の若い世代に伝える一助となれば、モノづくりの明るい未来につながるはずだ。

観光資源として見れば、この世界遺産が外国人観光客に対してどれだけの集客力を持つかは未知数。だが、地域活性にとってインバウンド（訪日外国人）の旺盛な消費需要の取り込みは、景気浮揚に不可欠となる。

韓国で中東呼吸器症候群（MERS）が流行した影響もあり、九州・沖縄各地へのクルーズ船寄港が増えている。降り立った乗船客らは大型バスで街に繰り出し、化粧品や生活用品を「爆買い」していく。免税専用レジを設ける店舗も増えている。福岡では福岡空港ビルディング（福岡市博多区）が福岡市中心部に空港型免税店の出店を予定。西日本鉄道、岩田屋三越（福岡市中央区）と共同運営し、初年度売り上げ目標30億円を見込むなど、新たなビジネスも登場している。

インバウンドのニーズの多くはメード・イン・ジャパンの品質にある。今後は小売り・サービス分野だけでなく製造分野でニーズを捉え、製品のすそ野を広げることも必要。

観光客の〝外需〟がふくらんでいる一方、各自治体が発行するプレミアム付き商品券が人気だ。行列をつくって買い求める姿が各地で見られるなど〝内需〟の消費意欲は回復しているようだ。この流れが生産の回復につながることを期待したい。

基幹産業である自動車の2015年1―3月期の生産台数は約36万台。過去最高を記録した12年にやや及ばないものの、前年並みの高い水準を維持している。

輸出先である中国の経済動向には注視が必要だが、完成車メーカーは九州での増産体制を打ち出している。日産自動車九州（福岡県苅田町）は北米向けスポーツ多目的車（SUV）「ローグ」を16年春から九州で生産する。トヨタ自動車九州（同宮若市）は、15年度生産台数を35万台超に設定。08年のリーマン・ショックを経た09年度以降で同社最高の生産台数になる。自動車産業では自治体を含め九州全体が「カーアイランド」として団結して取り組んでいる。

一方で新たな課題も浮上してきた。九州新幹線や東九州自動車道など交通インフラの整備により、九州各県は近くなった。そのため隣県と同じ取り組みでは、おのずと魅力は薄まる。特色を強く打ち出す方がアピールできるはずだ。

その一つの手立てが地理を生かすこと。例えば沖縄は、09年から沖縄県と全日本空輸（ANA）が共同で那覇空港を国際物流のハブ拠点とした。国内、アジアの各都市から夜間に航空貨物を集約、仕向け地ごとに積み替えて、未明から早朝にアジア各地に飛び立つ。24時間通関が可能なため、アジア間の翌日配送を実現。ヤマト運輸との連携により、生鮮品を冷凍・冷蔵で送ることもできる。

沖縄の最大の強みは地理的要因で他県ではなしえない。基点となったのは、日本国内では南端にあるが、アジアの中で見れば中心にあるという発想の転換だ。

その考え方でいけば、九州・沖縄は各県に機能を「分散」させるのではなく、選択と集中による「分業」を進めるべきだ。地方創生は、地方が中央のようになることではなく、地方として生きる道筋を太く強く持つもの。地方だからできることを伸ばすことだ。九州・沖縄にはそれを実現できる土壌がある。

後世になって、21世紀初頭に九州で「産業革命」が再び起きたと言われるよう地方創生を具現化することが期待される。

博多織のタペストリー。福岡県は4月、県庁の物産観光展示室を「福岡よかもんひろば」としてリニューアル。県産品の販路拡大を後押ししている

佐賀県は工業用地「新産業集積エリア武雄」に大同メタル工業を誘致。自動車関連の有力サプライヤーの立地で、雇用創出や立地促進に期待が集まる（1月の進出協定締結式）

造船の街・長崎では次世代型の省エネ技術を生かすことで日本の造船技術の優位性を示している（三菱重工業長崎造船所での最新型LNG船建造）

那覇空港はアジアの国際貨物のハブ拠点としての存在感を高めている。夜間から早朝にかけて、貨物専用機が貨物を集約し、再び飛び立つ

JR大分駅で実施した「おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン」オープニングイベント。大分県は観光振興に力を入れる

6月に八代港（熊本県八代市）に入港したクルーズ船。15年度の同港へのクルーズ船入港は14年度の10倍の10隻が予定され、観光産業の活性化が期待される

6月に宮崎市内で開かれた「九州地域活性化シンポジウム」。宮崎県では東九州自動車道の開通効果が期待されている

樹楽（鹿児島県姶良市）の「桜島灰干し弁当」。地域資源である桜島の火山灰を食品加工に有効活用した。14年に農水省の「フードアクションニッポン食文化賞」を受賞している

「福岡よかもん市場」で名産品がばり得に!!

例えば いまだけ3割引となった選りすぐりの商品が集結 ※一部商品は4割引

例えば 1店舗1回のご注文3,000円（税込み）以上で送料無料

「福岡よかもん市場」とは？
福岡県の魅力的な名産品・特産品がお得に買える通販サイト

例えば 地元で生まれ育った人気の名産品・特産品を数多く取り揃え

よかもん市場

例えば スマホでらくらくお買い物

→→→ 詳しくはWEBで よかもん市場 検索 または

「福岡よかとこ旅行券」はいろいろお得!!

メニュー1 複数の大手ネット系旅行予約サイトで県外から福岡への宿泊旅行が最大10,000円引
るるぶトラベル じゃらん YAHOO! JAPAN トラベル 日本旅行

メニュー2 県内の旅行会社が企画するバスツアーや西鉄電車・バスの割引観光きっぷが最大50%OFF!

メニュー3 県内の宿泊施設や有料体験プログラムなどに使える「旅行券」
第1期完売! 第2期は9月下旬発売予定
◎旅行券は2種類
5,000円券を→2,500円で販売
1,000円券を→500円で販売
◎使える範囲
●県内の旅館・ホテルなどの宿泊施設
●工房体験などの有料体験プログラム
●観光タクシー

そのほかにも おひとり様1,000円で行ける福岡よしもと芸人と行く「福岡よかとこバスツアー」も実施！

→→→ 詳しくはWEBで よかとこ旅行 検索 または

お問い合わせ 福岡よかもん市場・福岡よかとこ旅行券事務局 〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-35 新KBCビル6階 電話 092-715-9151（月曜日～金曜日 9:30～17:00） FAX 092-715-9155（24時間受付） メール info@yokamon-yokatoko.jp（24時間受付）

※本事業は、国の交付金を活用した、福岡県の割引助成です。